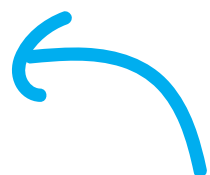


サル舎 NEWS Vol.9

ワオキツネザル編

グラウンドのやぐらが新しくないました

グラウンドには、空間を立体的に使えるようやぐらが設置されています。ワオ達はやぐらに乗って休息したり、飛び移って遊んだりと活用していました。先代のやぐらは設置から5年程経過していたため経年劣化とシロアリの影響を受けてボロボロになっていました。そこで、動物園の大工さんに依頼して新しいやぐらを立ててもらいました。ワオ達の反応は... 個体によって様々で、少し点検（匂いを嗅いだり、舐めたり、触ったり）したらすぐに乗っている個体もいれば、慎重に何度も点検を重ねて数時間後にやっと乗ってみる個体もいたりでした。今はみんな慣れて休息したり飛び移ったりしています。ぜひ、観察しながら性格も想像、分析してみてください♪



やぐらに乗っているキンカン



シロテテナガザル編

高齢のシロマティーと猛暑

シロマティーは 42 歳のおじいちゃんです。

夏の暑い日でも空調の効いた小部屋にはあまり入らず、心配していました。熱中症のような症状がみられたこともあり、小部屋ではなく展示室を開放することにしました。展示室にはよく入って休息しています。夜間のグラウンド開放も始めてみました。夕方、餌を食べ終わるとグラウンドに出て過ごしている事が多いです。糞もグラウンドに落ちていることが多く、閉園後もグラウンドで過ごしている時間が多いのかなと思われます。寒くなるまでは開放を続ける予定です。



グラウンドでカジノキを食べる
シロマティー

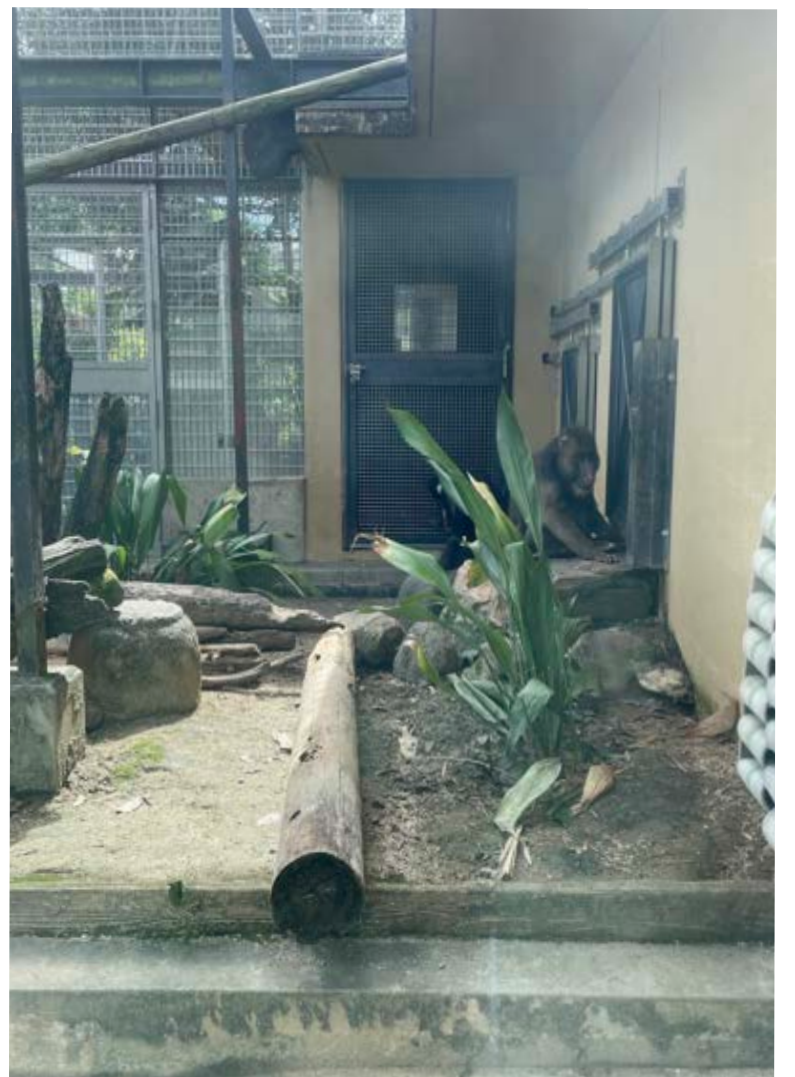
マンドリル編



はらはらハラン

ワオキツネザルのやぐらを新しくする際にハランを移動させる必要があったため、マンドリル達のグラウンドに移植しました。マンドリル達は植物を食べるだけでなく、齧ったりと破壊したりするのも大好きなので、ハランもすぐにばらばらにして遊ぶかなと思っていました。ところが、予想に反してハランにはあまり興味がなかったようで ... 破壊されることなく定着しました。毎朝、「今日はまだ、ハラン生えているかな…」とはらはらしながら、マンドリルだけでなくハランの観察もしていました（笑）

今後、ハランを増やして緑化できたらなと思っています。



ハランを2か所に植えました。
写っているのはオネです。

フサオマキザル編

トンキチの右前肢



今年の5月頃からトンキチの右前肢に顕著な跛行が見られるようになりました。5月に2度、レントゲン撮影や筋肉の検査を行いました。腕の筋肉の一部が硬くなっており、腕をうまく伸ばすことができなくなっている状態であることが分かりました。1回目の検査から3か月経過した8月に再び検査を行いました。結果は前回と大きな変化はありませんでした。幸い採食や移動に大きな影響を及ぼしてはいませんが、ひどくなったり、他の部位に異常が出てきたりしていないかなど、今後も注意深く観察していこうと思います。



向かって左がタマキ
右がトンキチです。